

お助けコレガくんシリーズ 3

コレガで広がるネットワーク ～無線接続編～

無線でゲーム機を
使いたい

無線LAN内蔵パソコンを
使いたい

無線セキュリティの
設定したい



目次

PART1 無線ネットワークを作ってみよう	3
無線 LAN でケーブルレス接続	3
無線 LAN をお使いになるための注意	3
自分にあった無線ネットワークのタイプを見つけよう	3
無線タイプ確認フローチャート	4
PART2 無線ネットワークに接続しよう	6
「コレガ無線 LAN ユーティリティ」を利用した接続	6
新規で専用ソフトウェアをインストールする場合	6
専用ソフトウェアがインストールされている場合	6
無線ネットワークに接続する	7
Windows XP を利用した接続	9
接続の前に	9
無線ネットワークに接続する	9
PART3 無線セキュリティ(暗号化)を設定しよう	12
無線セキュリティの種類	12
設定の前に	13
WEP を使う	13
ルータの設定	13
無線 LAN アダプタの設定	14
「コレガ無線 LAN ユーティリティ」から設定する	14
Windows XP (無線 LAN 内蔵パソコン) から設定する	15
WPA-PSK を使う	17
ルータの設定	17
無線 LAN アダプタの設定	18
「コレガ無線 LAN ユーティリティ」から設定する	18
Windows XP (無線 LAN 内蔵パソコン) から設定する	20
PART4 Q&A	22
●無線 LAN 対応のゲーム機をつなぎたい	22
●無線 LAN 対応のゲーム機が繋がらない	22
●「Super A/G (Super G)」または「eXtended Range」を無効にしたい	22
●接続が切れたり速度が遅い	23
おことわり	25

PART 1

無線ネットワークを作ってみよう

無線LANでケーブルレス接続

インターネットの普及が目ざましい中、家庭でも複数のパソコンを同時に利用していることもめずらしいことではなくなりました。有線での接続は、複数のパソコン周辺機器と接続するためにLANケーブルが室内を巡り、煩わしく感じてしまいます。また、別の部屋にあるパソコンへの接続では、障壁やドアなどの障害物に阻まれたり、移動もLANケーブルの長さに限られてしまいます。

LANケーブルの代わりに電波を利用した無線LANにすれば、電波の届く範囲であれば障害物を越えることができ、壁やドアに区切られた別々の部屋につなげることが可能となり大変便利です。

無線LANをお使いになるための注意

無線LANは電波の届く範囲であれば誰でも接続できる機能です。便利な無線LANですが、電波の届く範囲であれば誰でも接続することができてしまうので、接続と同時にセキュリティの設定を行うことをおすすめします。ご使用になる前に付属の「無線LAN製品をご利用の際のご注意」も合わせてお読みください。



本書では WEP と WPA-PSK の設定方法を紹介しています。

自分にあった無線ネットワークのタイプを見つけよう

ルータとパソコン1台だけなら付属のソフトウェアを使用するだけで無線ネットワークを行うことができますが、他メーカーの無線LANアダプタや無線LAN内蔵パソコン、無線LAN対応のゲーム機など複数の機器を含む環境で無線で通信を行うには、お使いの環境に合わせた無線ネットワークを設定する必要があります。次ページのフローチャートで現在のタイプを確認してください。

無線タイプ確認フローチャート

スタート！

お使いの環境に無線LANを内蔵したパソコン、他メーカーの無線LANアダプタを搭載したパソコン、無線対応のゲーム機のいずれかがある

はい

タイプ
A

いいえ

お使いの全てのパソコンで、
Windows XPまたは2000を
使っている

はい

お使いの無線機器は
全てJUMPSTART
対応製品ですか？

はい

タイプ
B

いいえ

いいえ

タイプ
A

タイプA

■コレガ製無線 LAN アダプタでの接続

付属の専用ソフトウェアを利用します。設定方法は、本書の「「コレガ無線 LAN ユーティリティ」を利用した接続」(P.6) をご覧ください。

■無線 LAN 内蔵パソコンでの接続

Windows XP (SP2) に標準搭載している「ワイヤレス ネットワーク」を利用して接続します。設定方法は、本書の「Windows XP を利用した接続」(P.9) をご覧ください。

■他メーカー製の無線 LAN アダプタでの接続

付属のソフトウェアからまずは、ESSID「corega」または「Jumpstart-P1-XXXXXX」(「Jumpstart-P1-XXXXXX」の「XXXXXX」は商品により異なります)、無線セキュリティ(暗号化)「無効」で接続します。その後、すべての機器で共通した無線セキュリティで設定します。設定方法は、お使いの無線 LAN アダプタの取扱説明書をご覧ください。

■無線 LAN 対応ゲーム機での接続

無線の設定はゲーム機またはゲームソフトからまずは、ESSID「corega」または「Jumpstart-P1-XXXXXX」(「Jumpstart-P1-XXXXXX」の「XXXXXX」は商品により異なります)、無線セキュリティ(暗号化)「無効」で接続します。その後、すべての機器で共通した無線セキュリティで設定します。設定方法は、ゲーム機またはゲームソフトの取扱説明書をご覧ください。

タイプB

■ JUMPSTART 対応製品での接続

無線の接続と無線セキュリティがワンステップで設定できる「JUMPSTART」を利用することができます。JUMPSTARTは米国Atheros社が提供する無線暗号化技術です。無線機器間の通信に暗号化をかけるので、接続と暗号化の設定をワンステップで行うことができます。設定方法は、商品に付属の「らくらく導入ガイド」またはお助けコレガくんシリーズ2「JUMPSTART 活用ガイド」をご覧ください。



JUMPSTARTを使用しない場合は、「コレガ無線 LAN ユーティリティ」で接続を行ってください。設定方法は、本書の「「コレガ無線 LAN ユーティリティ」を利用した接続」(P.6) をご覧ください。

PART 2

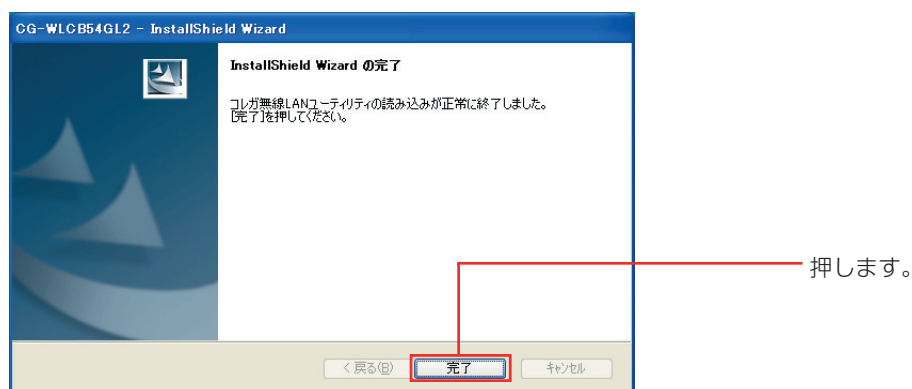
無線ネットワークに接続しよう

「コレガ無線LANユーティリティ」を利用した接続

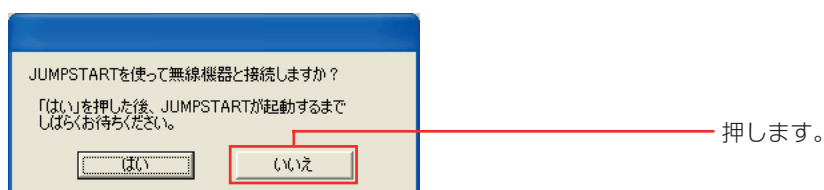
お使いの環境に無線 LAN 内蔵のパソコン、無線対応のゲーム機がある場合、または Windows Me/98SE をお使いの場合は、無線 LAN アダプタに付属されている専用ソフトウェアを利用して接続を行います。新しく専用ソフトウェアの読み込みからはじめる場合は「新規で専用ソフトウェアをインストールする場合」を、すでに専用ソフトウェアが読み込まれている場合は、「専用ソフトウェアがインストールされている場合」をご覧ください。

■新規で専用ソフトウェアをインストールする場合

- 1 次の画面が表示されるまで商品に付属されている「らくらく導入ガイド」を読み進めてください。専用ソフトウェアのインストールが完了すると次の画面が表示されます。[完了] を押してください。



Windows XP/2000 の環境で JUMPSTART に対応した商品では続けて次の画面が表示されます。[いいえ] を押してください。



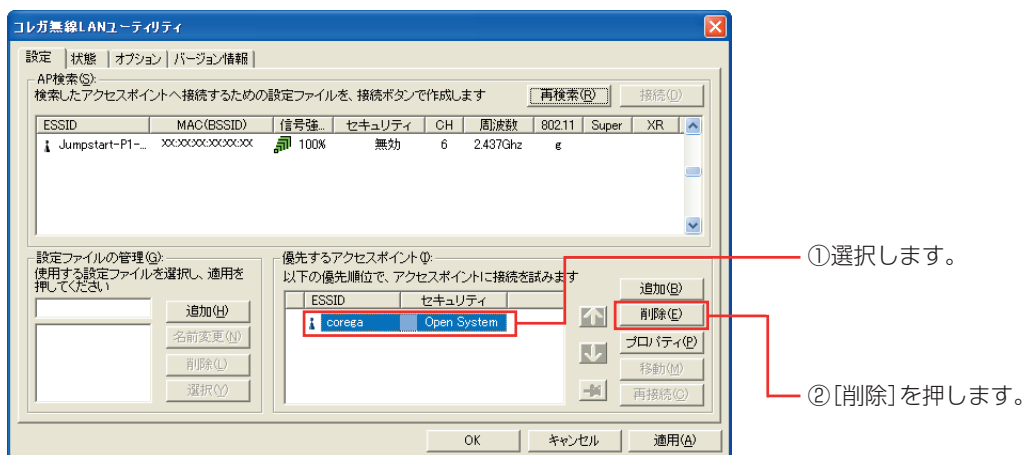
- 2 「コレガ無線 LAN ユーティリティ」画面が表示されます。

■専用ソフトウェアがインストールされている場合

画面右下のをダブルクリックして「コレガ無線 LAN ユーティリティ」を表示します。

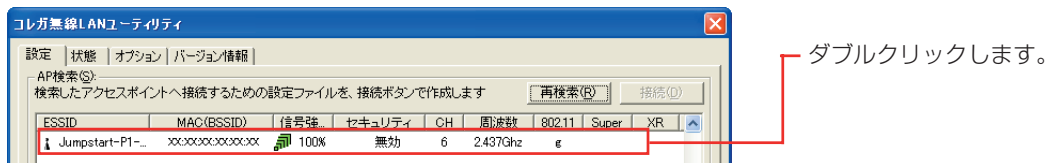
■無線ネットワークに接続する

- 1 接続する無線ネットワークのESSIDが「Jumpstart-P1-XXXXXX」（「Jumpstart-P1-XXXXXX」の「XXXXXX」は商品により異なります）の場合は、「優先するアクセスポイント」の「corega」を選択し、「削除」を押します。

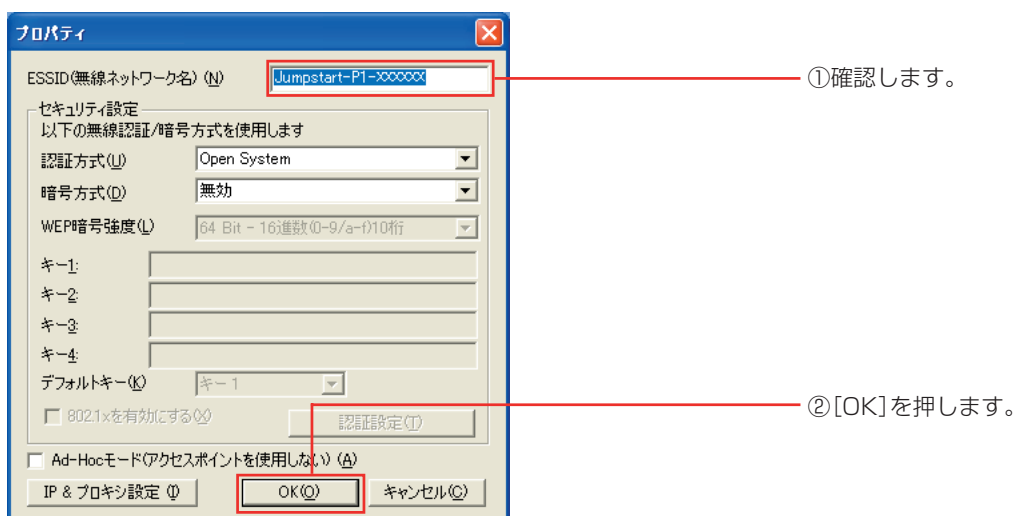


- 接続する無線ネットワークのESSIDが「corega」の場合は、削除する必要はありません。
- 「優先するアクセスポイント」に接続したいESSIDが表示され、アイコンが🔑となっている場合はすでに接続されています。この先の手順は必要ありません。

- 2 「AP 検索」で表示されている接続したい無線ネットワークをダブルクリックします。



- 3 「ESSID（無線ネットワーク名）」が接続した無線ネットワークのESSIDであることを確認し、[OK]を押します。



- 4 手順 1 の画面に戻りますので、「適用」を押し、設定を反映させます。
- 5 「優先するアクセスポイント」のESSIDのアイコンが🔑になっていれば、接続が完了しています。

6 お使いの環境に合わせて本書を読み進めてください。



- ・無線 LAN 内蔵パソコンがある場合は、「Windows XP を利用した接続」(P.9) をご覧ください。
- ・他メーカーの無線 LAN アダプタをお使いの場合は、付属の「取扱説明書」をご覧ください、無線接続が完了してから本書の「無線セキュリティ (暗号化) を設定しよう」(P.12) をご覧ください。
- ・無線対応のゲーム機をお使いの場合は、ゲーム機械またはゲームソフトの取扱説明書をご覧ください

Windows XPを利用した接続

パソコンに無線 LAN が内蔵されている場合は、コレガの無線 LAN アダプタを必要としません。Windows XP に標準搭載されている「ワイヤレス ネットワーク」を利用して接続します。



本書では Windows XP Service Pack 2 での手順で説明をしています。

■接続の前に

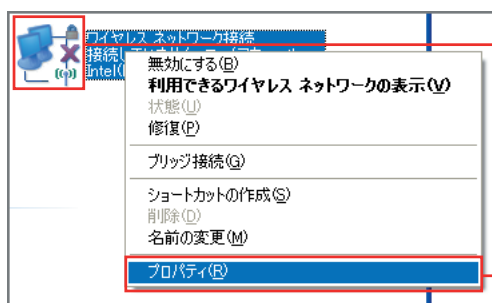
次の手順で Windows XP のワイヤレス ネットワークが有効になっていることを確認してください。

- 1 「スタート」（画面左下にあります）－「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット接続」－「ネットワーク接続」の順に選択します。



クラシック表示に切り替えている場合は、「スタート」－「コントロールパネル」の順に選択し、「ネットワーク接続」をダブルクリックします。

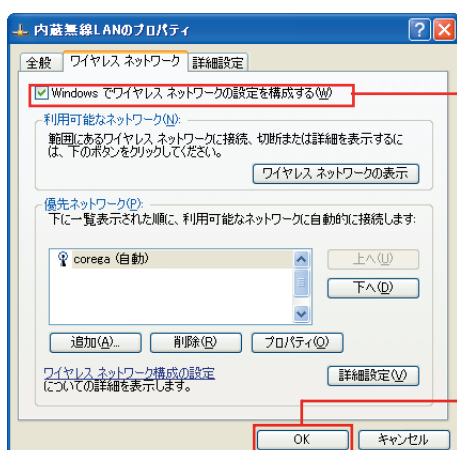
- 2 「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。



①「ワイヤレス ネットワーク接続」を右クリックします。

②「プロパティ」を選択します。

- 3 「ワイヤレスネットワーク」タブを選択し、「Windows でワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックマークがついていることを確認し、[OK] を押します（チェックマークがついていない場合は、選択してチェックマークをつけ [OK] を押します）。



①チェックがついていることを確認します。

②[OK]を押します。

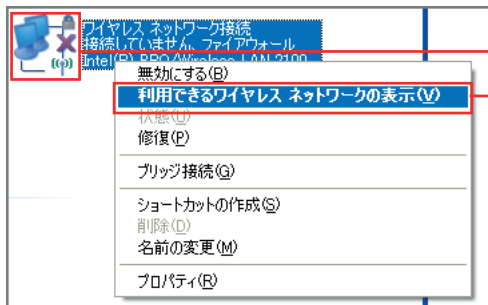
■無線ネットワークに接続する

- 1 「スタート」(画面左下にあります) — 「コントロールパネル」 — 「ネットワークとインターネット接続」 — 「ネットワーク接続」の順に選択します。



クラシック表示に切り替えている場合は、「スタート」 — 「コントロールパネル」の順に選択し、「ネットワーク接続」をダブルクリックします。

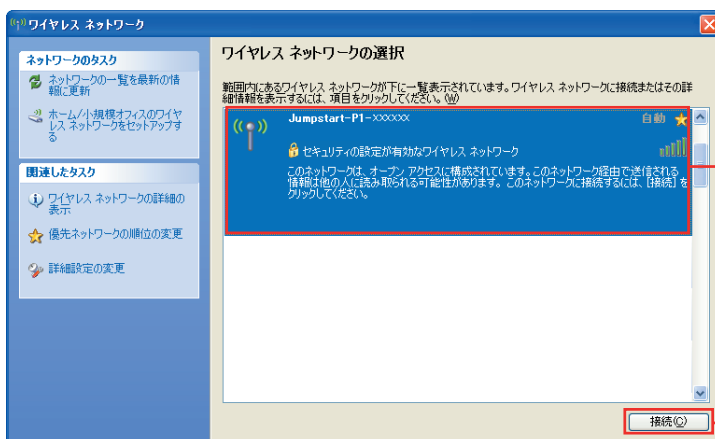
- 2 「ワイヤレス ネットワーク接続」を右クリックし、「利用できるワイヤレス ネットワークの表示」を選択します。



①右クリックします。

②「利用できるワイヤレス ネットワークの表示」を選択します。

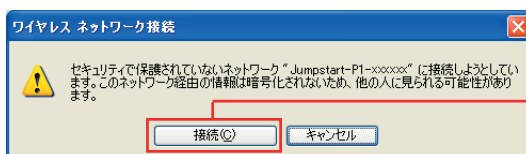
- 3 「ワイヤレス ネットワークの選択」に接続したネットワーク ESSID 「corega」または「Jumpstart-P1-XXXXXX」(「Jumpstart-P1-XXXXXX」の「XXXXXX」は商品により異なります)を選択し、[接続]を押します。



①選択します。

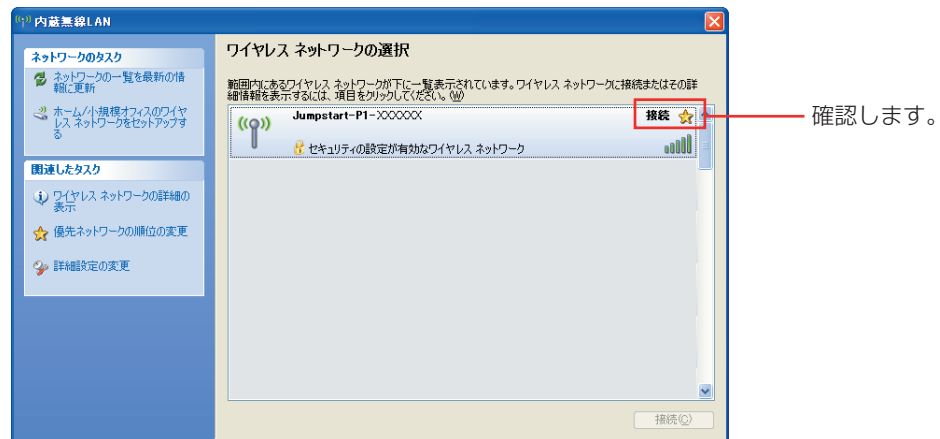
②[接続]を押します。

- 4 [接続]を押します。



押します。

- 5 右上に★マークが表示され、接続が完了しました。



- 6 続けて「PART3 無線 LAN セキュリティ（暗号化）を設定しよう」（次ページ）をご覧ください。

PART 3

無線セキュリティ（暗号化）を設定しよう

無線LANはLANケーブルの長さには制限されず通信できるという便利さがありますが、接続可能範囲であれば誰でも接続できてしまうため、情報の漏洩やデータ書き換え、なりすましといった危険もあります。無線LANにはこのような危険を回避するために無線セキュリティ（暗号化）という機能を持っています。無線LANをお使いになる場合は、無線セキュリティを合わせてお使いいただくことをおすすめいたします。

無線セキュリティの種類

無線セキュリティには次のような種類があります。無線セキュリティは、お使いになる無線LAN対応機器すべてに同じ設定を行う必要があります。設定の前にあらかじめ対応している無線セキュリティの種類をご確認ください。

● ESSID (Extended Service Set Identifier)

無線LANに接続する機器を認識するネットワークグループ名です。SSIDと呼ばれることもあります。同じESSIDを持つ無線LAN機器同士でしか通信できないため、独自のESSIDを設定することにより、外部から不正侵入される危険が減少します。

● WEP (Wired Equivalent Privacy)

通信内容を暗号化し、通信内容の傍受を防ぐセキュリティ機能の一つです。仮に通信データを傍受された場合でも、通信内容の復元を容易に行うことができなくなります。64Bit、128Bit、152Bitの3種類があり、ASCII文字（半角英数記号）やHEX（16進数：0～9、a～f）を入力し暗号キーを作成します。



152Bit は機種によって対応していないこともあります。

● WPA (Wi-Fi Protected Access)

通信内容を設定した暗号キーを使って暗号化するセキュリティ機能の一つです。暗号キーは一定時間ごとに変わるTKIPを採用しており、WEPよりも解読されにくくなります。家庭でご利用できる「WPA-PSK (Personal)」と企業内でご利用できる「WPA-EAP (Enterprise)」の2種類の設定ができます。

● WPA2 (Wi-Fi Protected Access 2)

WPA2は、Wi-Fi Allianceが2004年9月に発表したWPAの新バージョンです。米標準技術局（NIST）が定めた暗号化標準の「AES」を採用しており、128～256Bitの可変調キーを利用して強力な暗号化が可能です。その他の仕様はWPAとほとんどかわらないので、WPAとWPA2の混在した環境で利用できます。

● 802.1x 認証

無線ネットワークを確立する際に、認証サービスを受けるセキュリティ設定です。正しい認証キーでアクセスすると認証サーバが正規のユーザであることを承認し、通信が可能になります。企業内のネットワークで利用されます。

● JUMPSTART™ for Wireless

米国Atheros社が提供する無線LANセキュリティ設定技術です。有効時には、Diffie-Hellmanプロトコルを利用して自動で暗号キーを作成し、その後接続する機器が対応するセキュリティ機能（WPA、WPA2）から高度かつ共通の設定を自動で行います。初回接続時に無線LANアダプタから「パスワード」を入力して無線ネットワークのセキュリティ設定が完了します。

設定の前に

ここでは、「タイプ別フローチャート」(P.4) で「タイプA」となった環境でお使いいただくことができる無線セキュリティについて説明しています。無線セキュリティは、お使いになる無線機器すべてが同じ無線セキュリティに対応している必要があります。設定を行う前にお使いの機器が対応する無線セキュリティの種類を確認してください。次の手順からはお使いの機器に合わせて読み進めてください。

お使いのすべての機器が「WEP」に対応している場合……「WEPを使う」(本ページ)

お使いのすべての機器が「WPA-PSK」に対応している場合……「WPA-PSKを使う」(P.17)



- 本書ではWEPとWPA-PSKを例に説明しています。他の種類の無線セキュリティを設定する場合は、付属のCD-ROMに収録されているPDFマニュアル(「取扱説明書」または「詳細設定ガイド」)をご覧ください。
- 「タイプB」となり、JUMPSTARTをお使いになる場合は、付属の「らくらく導入ガイド」またはお助けコレガくんシリーズ2「JUMPSTART活用ガイド」をご覧ください。

WEPを使う

■ルータの設定

- 1 Internet Explorerを起動し、アドレス欄に「192.168.1.1」を入力し、「Enter」キーを押します。



「192.168.1.1」を入力し、「Enter」キーを押します。



「192.168.1.1」はルータの工場出荷時(初期値)の状態でのLAN側IPアドレスです。LAN側IPアドレスを変更しているまたはルータ機能をオフにしている場合は、変更後の値を入力してください。

- 2 ユーザ名に「root」を入力し、パスワードを空欄のままで[ログイン]を押します。

ユーザ名: root

パスワード:

[ログイン] [キャンセル]

(C)2000-2005 株式会社コレガ

①「root」を入力します。

②入力はありません。

③[ログイン]を押します。



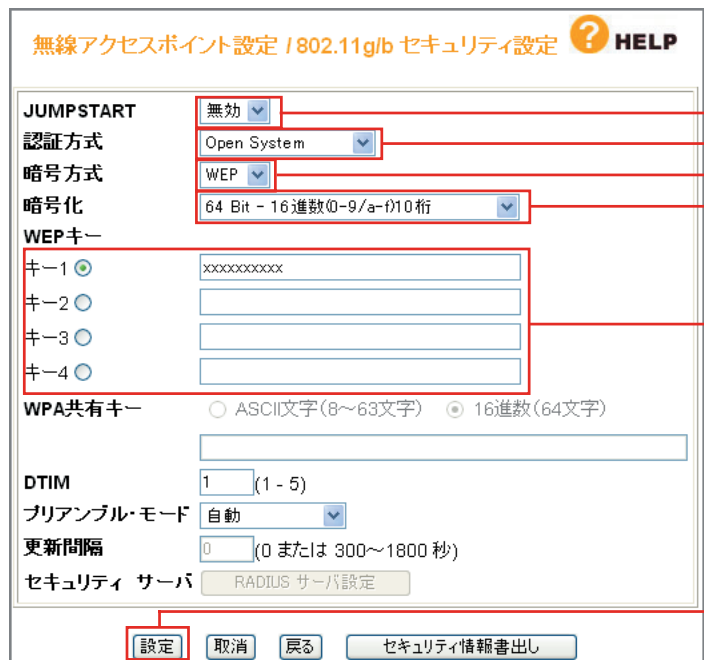
ユーザ名とパスワードを変更している場合は、変更後の値を入力してください。

- 3 画面右上に表示されているセキュリティの[設定]を押します。



[設定]を押します。

4 次のように設定します。



無線アクセスポイント設定 / 802.11g/b セキュリティ設定 ? HELP

JUMPSTART: 無効

認証方式: Open System

暗号方式: WEP

暗号化: 64 Bit - 16進数(0-9/a-f)10桁

WEPキー:

キー1: xxxxxxxxxxxx

キー2:

キー3:

キー4:

WPA共有キー: ☐ ASCII文字(8~63文字) ☒ 16進数(64文字)

DTIM: 1 (1 - 5)

プリアンブル・モード: 自動

更新間隔: 0 (0 または 300~1800 秒)

セキュリティ サーバ: RADIUS サーバ設定

設定 取消 戻る セキュリティ情報書出し

① JUMPSTART設定がある場合は「無効」を選択します。

② 「Open System」または「Shared Key」を選択します。

③ 「WEP」を選択します。

④ 暗号化方式を選択します。

⑤ WEPキーを入力します。入力欄にASCII文字または16進数を入力し、使用するキーにチェックをつけます。

⑥ 「設定」を押します。

WEPキーは無線LANアダプタの設定に必要となります。下の記入欄に控えておくことをおすすめします。

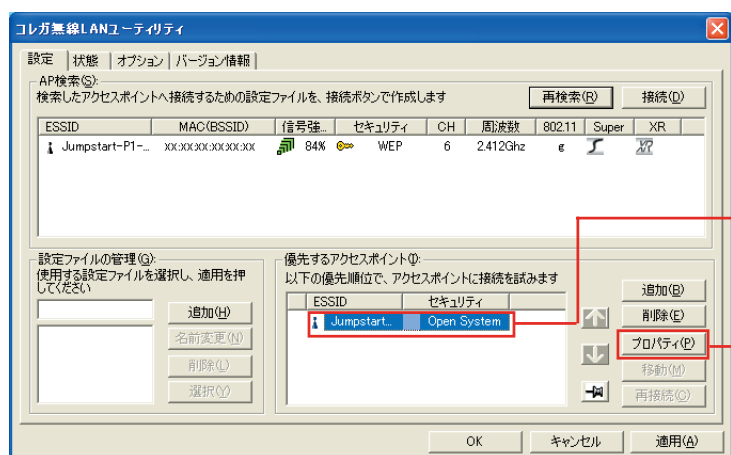
WEP キー

続けて無線 LAN アダプタの設定をします。

■無線LANアダプタの設定

●「コレガ無線LANユーティリティ」から設定する

- 1 画面右下のをダブルクリックします。
- 2 「優先するアクセスポイント」から設定した無線ネットワークのESSIDを選択し、「プロパティ」を押します。



コレガ無線LANユーティリティ

設定 | 状態 | オプション | バージョン情報

AP検索(S): 検索したアクセスポイントへ接続するための設定ファイルを、接続ボタンで作成します

再検索(R) 接続(Q)

ESSID	MAC(BSSID)	信号強	セキュリティ	CH	周波数	802.11	Super	XR
Jumpstart-P1...	xx:xx:xx:xx:xx:xx	84%	WEP	6	2.412Ghz	e		

設定ファイルの管理(G): 使用する設定ファイルを選択し、適用を押してください

優先するアクセスポイント(P): 以下の優先順位で、アクセスポイントに接続を試みます

ESSID	セキュリティ
Jumpstart...	Open System

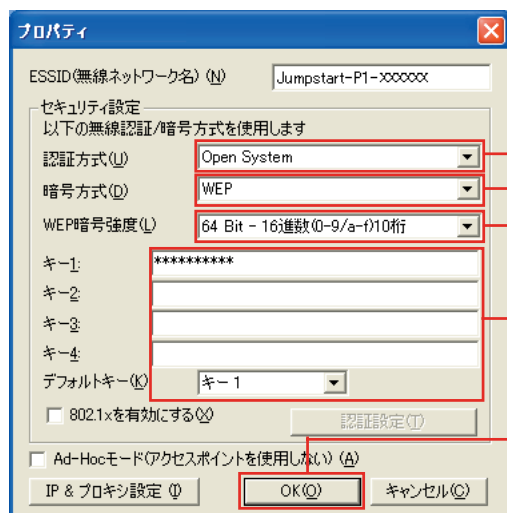
追加(A) 削除(D) プロパティ(P) 移動(M) 再接続(C)

OK キャンセル 適用(A)

① 選択します。

② 「プロパティ」を押します。

- 3 ルータと同じ WEP の設定 (P.14 の手順 4) をし、[OK] を押します。



①「Open System」または「Shared Key」を選択します。

②「WEP」を選択します。

③暗号方法を選択します。

④WEPキーを入力します。WEPキーが複数ある場合は、「デフォルトキー」で選択します。

⑤[OK]を押します。

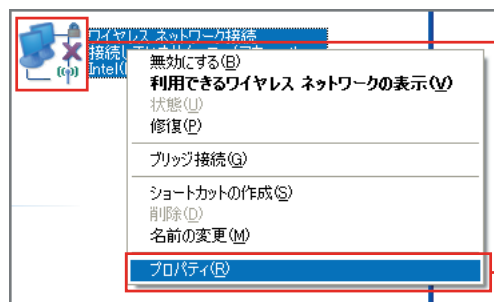
- 4 「優先するアクセスポイント」の ESSID のアイコンが  と表示され、接続が完了しました。

● Windows XP (無線 LAN 内蔵パソコン) から設定する

- 1 「スタート」(画面左下にあります) — 「コントロールパネル」 — 「ネットワークとインターネット接続」 — 「ネットワーク接続」の順に選択します。

 クラシック表示に切り替えている場合は「スタート」 — 「コントロールパネル」の順に選択し、「ネットワーク接続」をダブルクリックします。

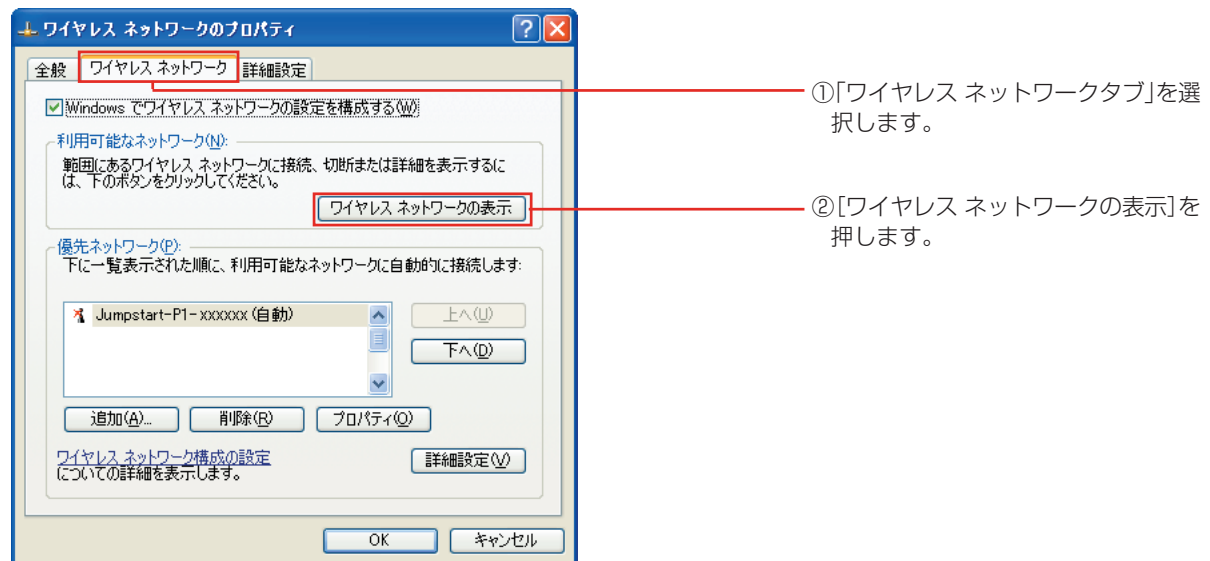
- 2 「ワイヤレス ネットワーク接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。



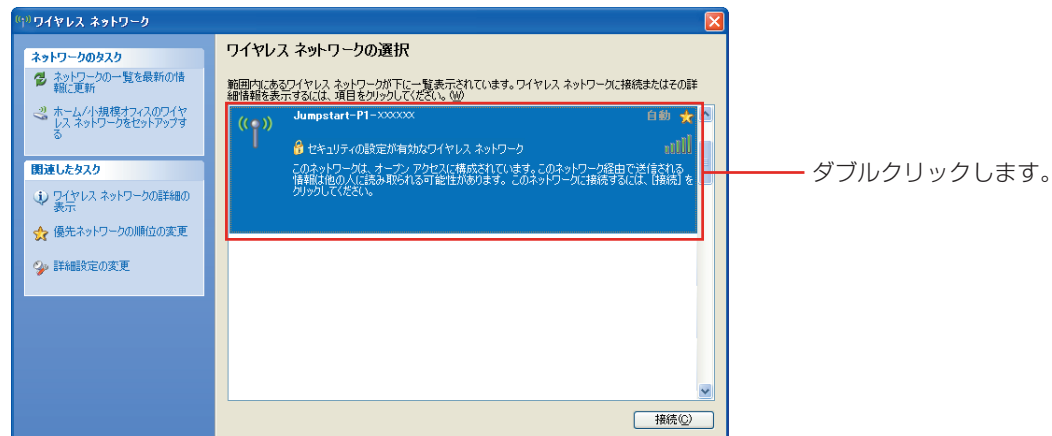
①「ワイヤレス ネットワーク接続」を右クリックします。

②「プロパティ」を選択します。

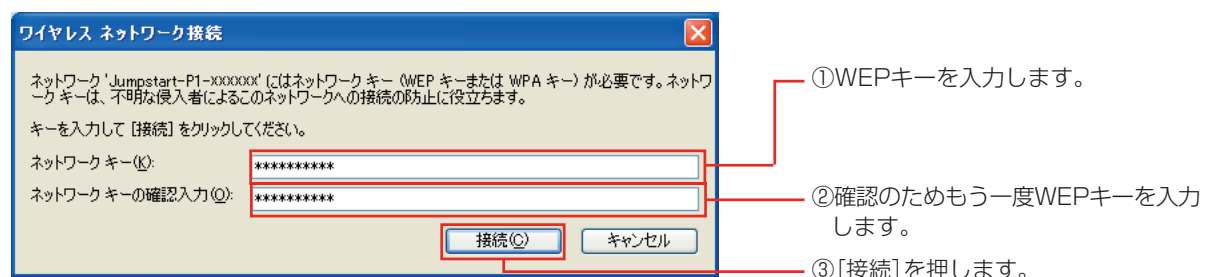
- 3 「ワイヤレス ネットワーク」タブを選択し、[ワイヤレス ネットワークの表示] を押します。



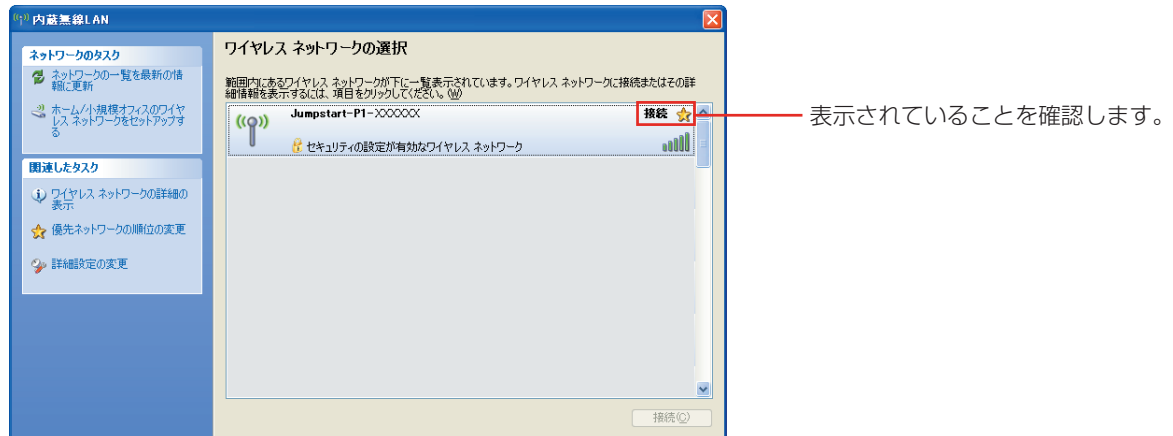
- 4 接続したい無線ネットワークをダブルクリックします。



- 5 検索がはじまり、次の画面が表示されます。ルータと同じ WEP キー（P.14 の手順 4 キー）を入力し、[接続] を押します。



- 6 右上に★マークが表示され、接続が完了しました。

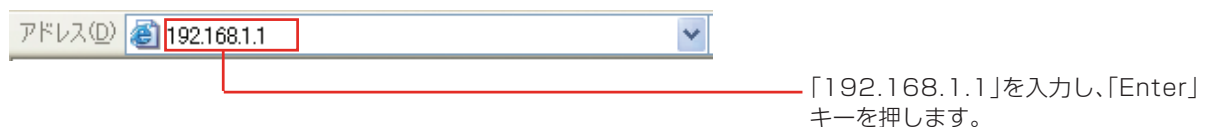


以上で設定が完了しました。

WPA-PSKを使う

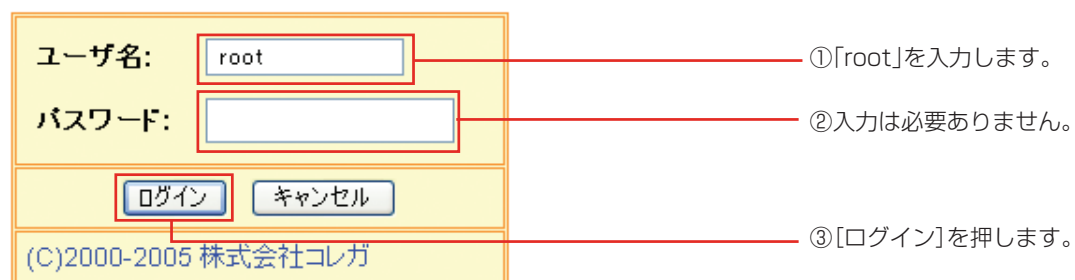
■ルータの設定

- 1 Internet Explorerを起動し、アドレス欄に「192.168.1.1」を入力し、「Enter」キーを押します。



「192.168.1.1」はルータの工場出荷時（初期値）の状態でのLAN側IPアドレスです。LAN側IPアドレスを変更しているまたはルータ機能をオフにしている場合は、変更後の値を入力してください。

- 2 ユーザ名に「root」を入力し、パスワードを空欄のままで[ログイン]を押します。



ユーザ名とパスワードを変更している場合は、変更後の値を入力してください。

- 3 画面右上に表示されているセキュリティの[設定]を押します。



4 次のように設定します。

無線アクセスポイント設定 / 802.11g/b セキュリティ設定 ? HELP

JUMPSTART 無効

認証方式 WPA/WPA2 - PSK

暗号方式 自動(AES/TKIP)

暗号化 64 bit

WEPキー文字列 コード生成

WEPキー 16進数 (0~9/a~f)

キー1
キー2
キー3
キー4

WPA共有キー ☒ ASCII文字 (8~63文字) ☐ 16進数 (64文字)
XXXXXXXXXX

DTIM 1 (1 - 5)

プリアンブル・モード 自動

更新間隔 0 (0 または 300~1800 秒)

セキュリティ サーバ RADIUS サーバ設定

設定 取消 戻る セキュリティ情報書出し

①JUMPSTART設定がある場合は「無効」を選択します。

②「WPA/WPA2-PSK」を選択します。

③「自動(AES/TKIP)」を選択します。

④ASCII文字(半角英数記号)または16進数(0~9、a~f)を選択し、下の欄にキーを入力します。
※このキーは無線LANアダプタの設定にも使用するのでメモしておいてください。

⑤「設定」を押します。

((())) WPA共有キーは無線LANアダプタの設定に使用します。下の記入欄に控えておくことをおすすめします。

WPA 共有キー

続けて無線 LAN アダプタの設定をします。

■無線LANアダプタの設定

●「コレガ無線 LAN ユーティリティ」から設定する

- 画面右下のをダブルクリックします。
- 「優先するアクセスポイント」から設定したい無線ネットワークのESSIDを選択し、[プロパティ]を押します。

コレガ無線LANユーティリティ

設定 | 状態 | オプション | バージョン情報

AP検索(S): 検索したアクセスポイントへ接続するための設定ファイルを、接続ボタンで作成します 再検索(R) 接続(Q)

ESSID	MAC(BSSID)	信号強	セキュリティ	CH	周波数	802.11	Super	XR
Jumpstart-P1...	XX:XX:XX:XX:XX:XX	84%	無効	1	2.412Ghz	g		

設定ファイルの管理(S): 使用する設定ファイルを選択し、適用を押してください

優先するアクセスポイント(P): 以下の優先順位で、アクセスポイントに接続を試みます

ESSID	セキュリティ
Jumpstart...	Open System

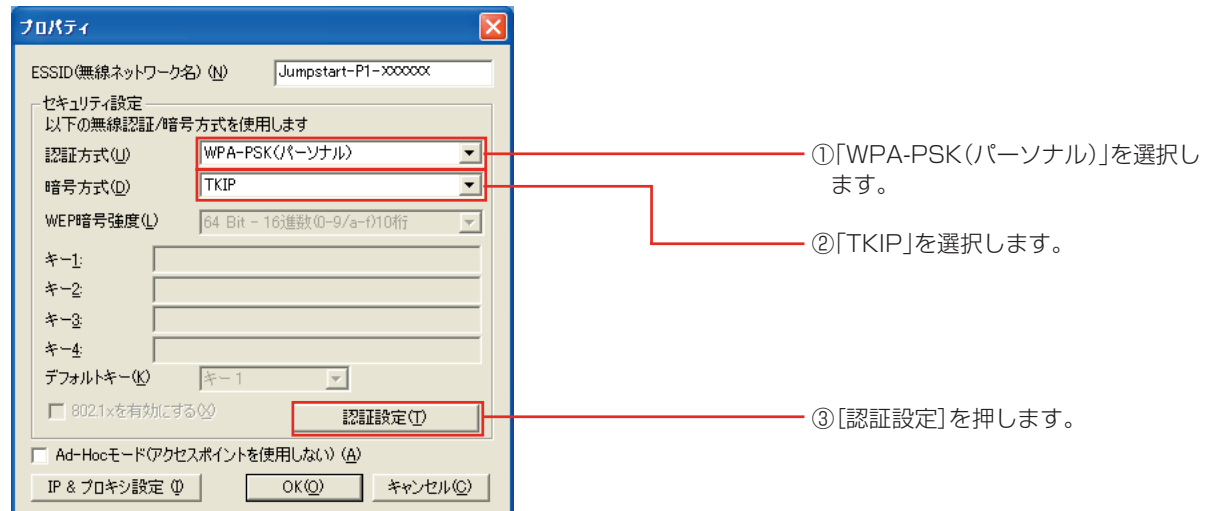
追加(A) 削除(E) プロパティ(P) 移動(M) 再接続(C)

OK キャンセル 適用(A)

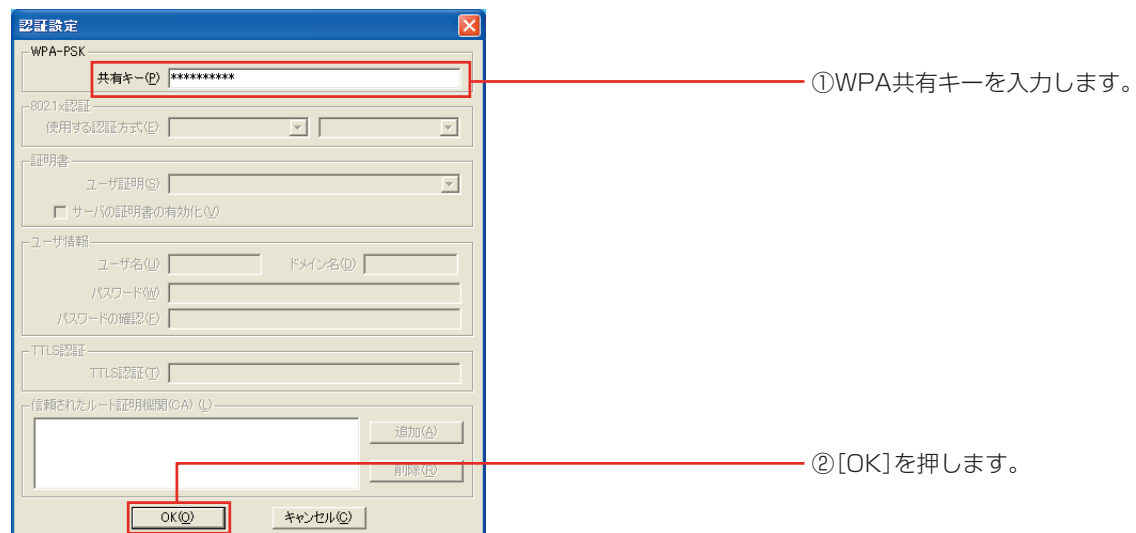
①選択します。

②「プロパティ」を押します。

3 次のように設定し、[詳細設定] を押します。



4 ルータと同じ WPA 共通キー（P.15 の手順 4 で入力したキー）を入力し、[OK] を押します。



5 手順 3 の画面に戻ります。[OK] — [適用] の順に押し、設定を反映させます。

6 「優先するアクセスポイント」の ESSID のアイコンが  と表示され、接続が完了しました。

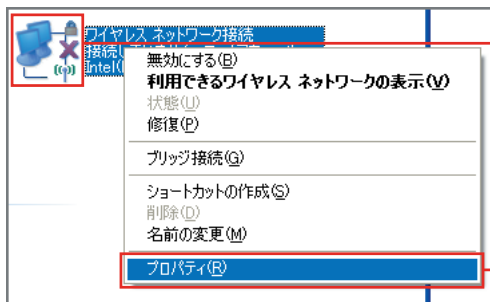
以上で設定が完了しました。

● Windows XP（無線 LAN 内蔵パソコン）から設定する

- 1 「スタート」（画面左下にあります）－「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット接続」－「ネットワーク接続」の順に選択します。

 クラシック表示に切り替える場合は「スタート」－「コントロールパネル」の順に選択し、「ネットワーク接続」をダブルクリックします。

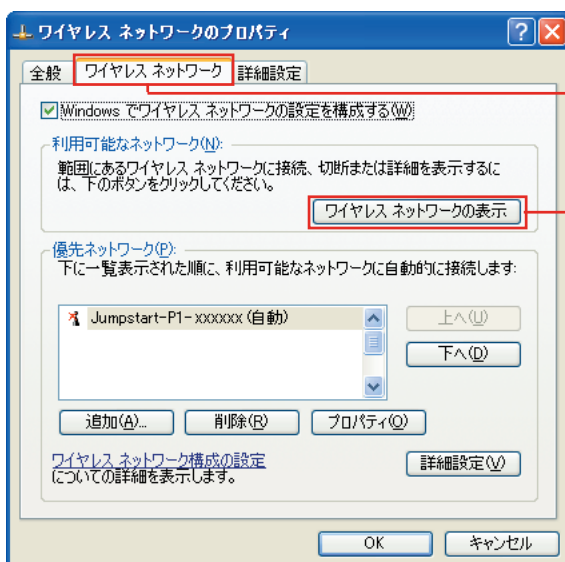
- 2 「ワイヤレス ネットワーク接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。



①「ワイヤレス ネットワーク接続」を右クリックします。

②「プロパティ」を選択します。

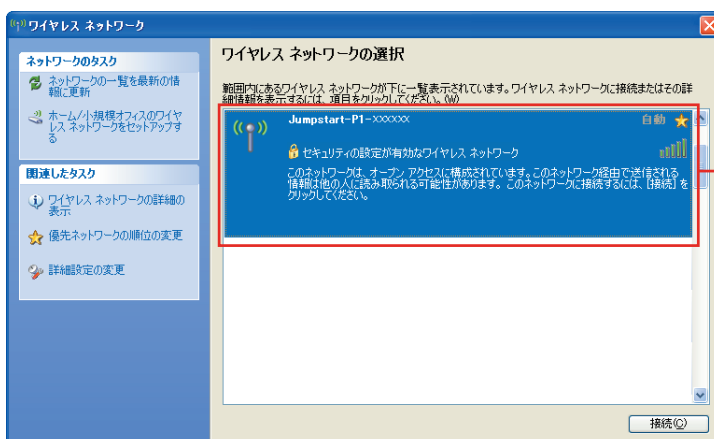
- 3 「ワイヤレス ネットワーク」タブを選択し、「ワイヤレス ネットワークの表示」を押します。



①「ワイヤレス ネットワークタブ」を選択します。

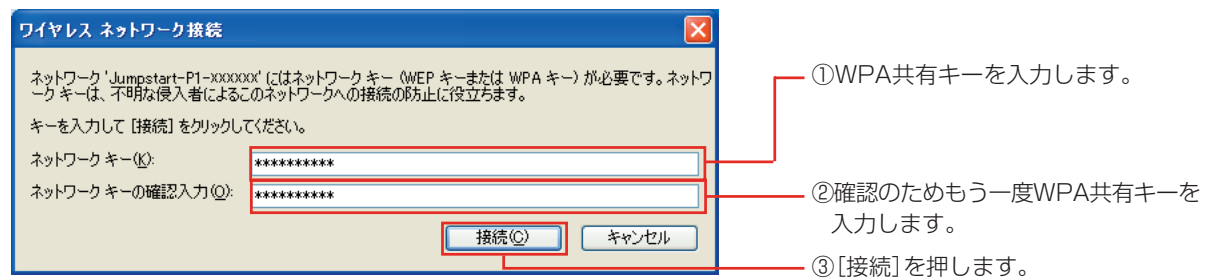
②「ワイヤレス ネットワークの表示」を押します。

- 4 接続したい無線ネットワークをダブルクリックします。

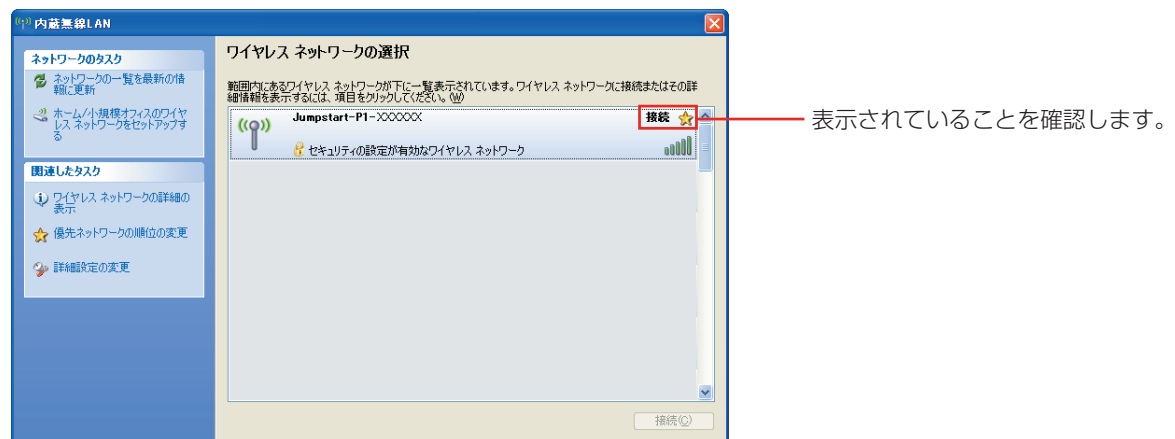


ダブルクリックします。

- 5 検索がはじまり、次の画面が表示されます。ルータと同じWPA 共有キー（P.16の手順4で入力したキー）を入力し、[接続] を押します。



- 6 右上に★マークが表示され、接続が完了しました。



以上で設定が完了しました。

■無線LAN対応のゲーム機をつなぎたい

本書の「[コレガ無線LANユーティリティ]を利用した接続」(P.6) または「Windows XPを利用した接続」(P.9) で紹介している手順で無線接続が確立していれば、無線LAN対応のゲーム機との接続が可能です。無線LAN対応のゲーム機の設定方法は、それぞれの取扱説明書またはゲームソフトの取扱説明書をご覧ください。

■無線LAN対応のゲーム機が繋がらない

● JUMPSTART をお使いの場合

JUMPSTART をお使いの場合、JUMPSTART の設定に無線LANタイプのゲーム機を組み込むことはできません。「PART3 無線セキュリティ(暗号化)を設定しよう」をご覧ください、お使いの環境に合わせた無線セキュリティを設定してください。

● JUMPSTART を使っていない場合

ゲーム機またはゲームソフトに付属している取扱説明書をご覧ください、正しく設定されているか確認してください。

■「Super A/G(Super G)」または「eXtended Range」を無効にしたい

Super A/G (Super G) または eXtended Range (XR) を無効にしたい場合は次の手順でルータの設定を変更してください。

- 1 Internet Explorer を起動し、アドレス欄に「192.168.1.1」を入力し、「Enter」キーを押します。



「192.168.1.1」を入力し、「Enter」キーを押します。



「192.168.1.1」はルータの工場出荷時(初期値)の状態でのLAN側IPアドレスです。LAN側IPアドレスを変更しているまたはルータ機能をオフにしている場合は、変更後の値を入力してください。

- 2 ユーザ名に「root」を入力し、パスワードを空欄のままで「ログイン」を押します。

The login form has a yellow background. It contains two input fields: 'ユーザ名:' (Username) with 'root' entered, and 'パスワード:' (Password) which is empty. Below these are two buttons: 'ログイン' (Login) and 'キャンセル' (Cancel). At the bottom, it says '(C)2000-2005 株式会社コレガ'. Red lines with numbers point to the fields and buttons: ① points to the username field, ② points to the password field, and ③ points to the login button.

 ユーザ名とパスワードを変更している場合は、変更後の値を入力してください。

- 3 ルータの設定画面が表示されます。左側のメニューから「LAN 側設定」→「無線アクセスポイント設定」→「802.11g/b 設定」(または「802.11a 設定」)の順に選択します。
- 4 「Super モード」または「eXtended Range」で「無効」を選択し、「設定」を押します。

The settings screen has a title bar with '無線アクセスポイント設定 / 802.11g/b 設定' and a 'HELP' button. The settings are as follows:
ESSID: Jumpstart-P1-XXXXXX
モード: 802.11g/b
チャンネル: 自動設定
Superモード: 無効
eXtended Range: 無効
転送レート: 自動設定
IPv6マルチキャスト通信: 無効
ステルスAP: 無効
電波強度: 最大
ビーコン間隔: 100 ms (初期値: 100, 20~1000)
RTSしきい値: 2346 (初期値: 2346, 256~2346)
パケット分割のしきい値: 2346 (初期値: 2346, 256~2346)
At the bottom are buttons for '設定' (Settings), '取消' (Cancel), and '戻る' (Back). Red lines with numbers point to the 'Superモード' and 'eXtended Range' dropdowns (labeled ①) and the '設定' button (labeled ②).

以上で設定が完了しました。

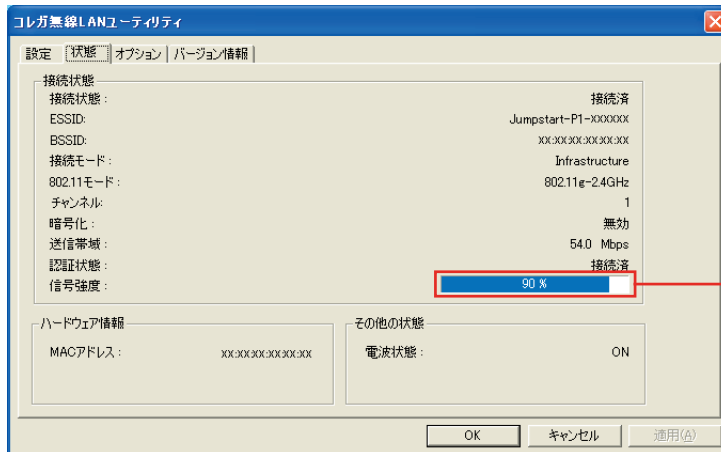
■接続が切れたり速度が遅い

接続が途切れたり速度が遅い場合は、無線の電波強度が充分でない可能性があります。次の手順で電波強度の状態を確認し、無線ルータ（無線アクセスポイント）またはパソコンの位置や向きを変えるなどしてより安定した電波状態でお使いください。

●「コレガ無線 LAN ユーティリティ」から確認する

- 1 画面右下のをダブルクリックします。

- 2 「状態」タブを選択し、「信号強度」の状態が 100% に近い状態であることを確認します。



100%により近い状態になっていることを確認します。

● Windows XP（無線 LAN 内蔵パソコン）から確認する

- 1 画面右下のワイヤレス ネットワークのアイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします。

- 2 「ワイヤレス ネットワーク接続の状態」が表示されますので、「シグナル強度」の状態が下の状態になっていることを確認します。



緑色のバーで強度を表します。5本が最大です。

おことわり

- ・ 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- ・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- ・ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

Copyright©2006 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2006 年 6 月 初版